

# 会報 防災だより

2010  
VOL.4  
3月31日発行

## CONTENTS

- |                       |            |        |
|-----------------------|------------|--------|
| 1. ご挨拶                | 会長 大黒裕明    | 2P     |
| 2. 防災講演会              |            | 2P     |
| 3. 防災フェスタ2009         |            | 3P     |
| 4. 災害時要援護者支援事業        |            | 3P     |
| 5. 防災士研修・視察研修・各ブロック研修 |            | 4・5・6P |
| 6. 頑張れる力              | 荒沢 弁砂明     | 7P     |
| 7. 趣味をもとう             | 中野 喜代芽     | 8P     |
| 8. 会員事業所紹介コーナー        | 八戸液化ガス株式会社 | 8P     |

題字揮毫 大黒会長



# ご挨拶

八戸地域防災協会

会長 大黒 裕 明



防災日より第4号をお届けします。昨年、八戸地域で夏場に小さな地震が毎月十回前後も発生し続けました。秋になって少しは治まったので安心していたら今度は年末に伊豆でマグニチュード5・三と大きく揺れ、日本の国に住んでいる限り地震の不安はいつも付いて回るのだと再認識せざるを得ない一年でした。幸いにもたいした被害に繋がらなかったのは何よりですが、それでも近隣の人たちはさぞや大変だったこととお見舞い申し上げます。昨年、当会で岩手県南の被災地を視察した際、報道に載らなかった大きな被害と言うものが結構あることを実感しました。マスコミはニュースバリュアの大小で扱い方を決めますから仕方ないのですが、現地を見てみると本当のことは分からないと言ったのが正直な感想です。

さて、私の携わっているエネルギー供給の仕事にとっては、実は地震は天敵と言っても良い存在なのです。都市ガスや簡易ガスは地中に導管を埋設して供給していますので地面が揺れると大きな損傷を受けることがあり、LPガスもボンベが傾いたりメーターが止まったりします。どちらもその都度緊



急出動して総点検や補修を行います。これは正月や日曜祭日も、また深夜でも関係なしで、従業員の高い安全意識と家族の理解が無いと勤まらない仕事です。一方、石油スタンドやガス貯蔵施設は、地震に対しては十分過ぎるくらい頑丈に作られているので、万一のときはここへ逃げ込むのが最も安全なのではないかと思えるほどなのですが、でもそのためにとても大きな費用がかかっています。

尤も、こんなことはどの事業者の方でも同じことでしょう。例として地震の話ばかりを挙げましたが火事やその他の災害対策も同じことで、安全と安心は決してただでは手に入りません。安易なことを考えて手数や費用を惜しむと、社会の信用を失うことになり。仕方がないと消極的に捉えるのではなく、強い意思を持って安全や安心を確保するのが事業者としての義務であり、社会貢献だと自覚することが大切です。

## 防災講演会

講師 東尾 正氏  
元総務省消防庁次長

昨年十二月四日(金)八戸パークホテルにおいて、元総務省消防庁次長・現自動車安全運転センター理事の東尾正氏を講師に迎え「防災と危機管理」をテーマとして防災講演会を開催し、会員・関係者百二十五名が受講しました。

その後、会場を移して東尾正氏を囲みながらの懇親会を開催しました。

講演会は、前年度の伊奈かつぺい氏に続くもので、東尾氏が月刊誌「近代消防」に連載中の「世相横断」を骨子として、「グローバル化する危機」、「安心・安心の世界でも常識の不断の見直しを」、「マツチポンプの対応は安全・安心にマイナス」、「思い込みが招く危機対応の誤謬」、「理科・社会の壁を越える防災安全教育の必要性」などを世相の事件から危機管





# 防火の誓い新たに! 防災フェスタ2009

ブの皆さんは、これまで練習した成果を思う存分発揮し、元気よく演技してください。」と激励の言葉がありました。続いて幼年消防クラブ員九百四十三名による誓いの言葉「ぼくたち、わたしたちは火

昨年十月三日(土)八戸市体育館に於いて、防災協会の八戸地域の幼年・少年・婦人消防クラブ、消防団、消防本部の消防関係者、幼年・少年消防クラブの父兄など、総勢二千二百名が集い、「防災フェスタ2009」が開催されました。

第一部の式典は、小林眞八戸市長から「地域や職場で防災のリーダーとして活躍されている皆さんが、このように一堂に会して防火防災を誓い合い、連携を深めることは誠に意義深いものであります。発表する各消防クラブ

## フェスタ2009



遊びしません。」の大きな声が会場内に響きわたりました。住宅用火災警報器設置促進を訴える消防職員による「防災戦士ダッシュユール」の寸劇は、火災の中で救助にあたる防災戦士に園児から大きな歓声が沸き上がっていました。

第二部のアトラクションは幼年消防クラブ員によるマーチング「Show me your fire truck」火

遊びしません」「戸締り用心、火の用心」で始まり、和太鼓演奏、YOSAKOIソールや大人顔負けの消防伝統のまとい振り、はしご乗り、ミニボンブ車操法、少年消防クラブ員による虎舞い、住宅用火災警報器設置促進のために消防職員が作詞作曲した「家庭あんしん音頭」に合わせ二百人を超える婦人消防クラブ員が大きな

人消防クラブ員が大きな輪になって踊るなど次々に演技が披露されました。最後に住宅用火災警報器が当たる抽選会と、各幼年消防クラブ対抗の勝ち抜きジャンケン大会があり、会場は大いに盛り上がりました。

会場には幼年消防クラブ員一人ひとりの力作「消防図画」七百十五枚が廊下一面に掲示され、来場



者は興味深げに鑑賞していました。また当日午後から、八戸市中心街で八戸市制施行八十周年記念事業の一環として、「市民と消防の集い」が実施されました。

三日町から十三日町を歩行者天国とした会場には、はしご車、高所放水車、地震の揺れを体験できる起震車などが展示され、二〇〇

## 災害時要援護者支援事業

昨年十一月九日から十一日までの三日間、八戸消防本部と合同で、高齢者世帯、視覚不自由者等の身体障害者世帯などに、住宅用火災警報器の寄贈設置を実施しました。

今年度は、八戸市、三戸町、南部町の九〇世帯に対し、住宅用火災警報機百三個の寄贈設置と火気使用機器器具等の点検整備と併せて、たこ足配線や火気取り扱いなどの注意を呼びかけました。

この活動は、旧消防設備協会が昭和五十三年から電気・水道の点検整備と防災機器の寄贈設置、旧防火管理者協会毎年実施が平成九年から自動消火装置等の寄贈設置をそれぞれ実施してきましたが、合併後も社会福祉事業の一環として、引き続き実施しているもので、

八年六月から設置が義務付けられた住宅用火災警報器のPRコーナーも設けられました。レスキュー隊の訓練では、地上三十メートルの高さに張ったロープを隊員が鮮やかに渡ると、子供たちが大歓声、「防災戦士ダッシュユール」の寸劇も人気を集め、会場は大勢の家族ずれで賑わいました。

災害時要援護者世帯の火災・災害からの被害の軽減と防災意識を啓発して、災害のない明るい街づくりを推進することを目的としています。

来年度以降も、計画的に実施する予定となっておりますので、会員皆様のご協力をお願いします。







## 防災士研修講座を受講して

八戸液化ガス株式会社

寅谷 琢美

私は、防災士になるための資格があるということ、二年ぐらい前に聞き知りました。今回会社からの紹介で、初めて受講することになり、自分なりに色々考え地元消防団にも入団していることもあり、少しでも役立てたいという気持ちで、資格取得にチャレンジしてみました。

昨年の十月二十三日から十月二十五日までの三日間、千葉月コースの研修を受け最終日に試験という日程でした。初めは資格が取れるか不安でしたが、講師の人が三日間研修中、寝ないでしっかりと組めば誰でも資格が取れますという事を話され、その事でだいぶ気持ちが楽になりました。今現在、防災士の資格を持っている人は全国で約三万五千人いるそうです。これも、地震被害が多いことの現われだと思えます。

から始まり、色々な災害がどう起きるか、被災地の現場写真も見ながら、災害が起きたらどのような対応をとるか、その他避難場所でのボランティア活動などグループになって考えたりしながらの講習会でした。

三日間防災士の講習を受けて感じた事は、いつ起こるか分からない災害をどうしたら最小限に食い止めることができるか、日頃から高い防災意識と十分な知識、技能を持ちながら、みんなと協力しあって活動が出来ればと思います。

また、確実な情報をどう伝えていくかも大事だと思います。この事を自分で考えながら、会社での地震で出動した時の連絡、地元消防で出動した時の連絡や情報を確実に伝えること。また、いつ起こるか分からない災害、特に地震に関しては一度、地震対策を家族で話し合い、家屋の耐震診断や補強、家具等が倒れないための固定方法などを自分も含め、みなさんも考えてみてほしいと思います。

この講座は三日間の日程で行われ、気象予報士・建設工学教授・元消防庁等八人のスペシャリスト講師陣による阪神・淡路大震災の惨事や教訓、新潟県中越地震などの検証・演習を交えた講義は、緊張感と説得力のある有意義な研修内容でした。

私はこれまでチリ地震や三陸はるか沖地震等を体験し、災害に対して若干の知識と心構えをもっていたつもりでしたが、今、切迫してきた言葉、「自助」「共助」「公助」という言葉を忘れず、自分の身は自分で守り、自分達の町は自分達で守ることで近隣住民と助け合いながら救助活動を行い、公共団体(自衛隊、警察、消防)みんなと協力しあって災害を最小限に食い止めることが防災士としての役割だと思ひ、これからの防災活動に役立てていきたいと思ひます。

今回、防災士養成講座に派遣して頂きました八戸地域防災協会の方々にお礼申しあげます。有り難うございました。



## 防災士研修講座を受講して

八戸市立南浜公民館

岩館 光蔵

この講座は三日間の日程で行われ、気象予報士・建設工学教授・元消防庁等八人のスペシャリスト講師陣による阪神・淡路大震災の惨事や教訓、新潟県中越地震などの検証・演習を交えた講義は、緊張感と説得力のある有意義な研修内容でした。

また、確実な情報をどう伝えていくかも大事だと思います。この事を自分で考えながら、会社での地震で出動した時の連絡、地元消防で出動した時の連絡や情報を確実に伝えること。また、いつ起こるか分からない災害、特に地震に関しては一度、地震対策を家族で話し合い、家屋の耐震診断や補強、家具等が倒れないための固定方法などを自分も含め、みなさんも考えてみてほしいと思います。

最後に三日間の講習で一番出てきた言葉、「自助」「共助」「公助」という言葉を忘れず、自分の身は自分で守り、自分達の町は自分達で守ることで近隣住民と助け合いながら救助活動を行い、公共団体(自衛隊、警察、消防)みんなと協力しあって災害を最小限に食い止めることが防災士としての役割だと思ひ、これからの防災活動に役立てていきたいと思ひます。

今回、防災士養成講座に派遣して頂きました八戸地域防災協会の方々にお礼申しあげます。有り難うございました。



## 岩手・宮城内陸地震視察研修に参加して

八戸臨海開発株式会社  
磯 嶋 満

「近隣住民同士の協力・助け合い」「行政機関消防・自衛隊・警察の救援」と各々の役割を果たすことが災害を軽減する上で重要なこととされています。このため、まず身近に出来る耐震診断・家具の固定等の事前対策や避難の心得・地震時の行動などの応急対応の基本的学習・訓練、また消火・避難・救助等の実技的訓練を実践し、日頃から万が一の災害に「備え」ておく必要があります。

防災士の活動の範囲は大変広いですが、今回の研修で得た貴重な知見を少しでも地域に還元し、社会の防災力向上に努めていきたいと思ひます。

本研修に参加する機会を与えて頂き、深く感謝申し上げます。

二〇〇九年十月十五日に八戸地域防災協会の研修会に参加しました。今回は前年六月二十四日に発生した岩手・宮城内陸地震において最大震度六強を記録した宮城県栗原市の消防本部を訪ねました。そこで、発災時の被害状況や救出・

救援活動などの説明を受けたのち、三人の犠牲者を出した同市花山地区熊倉の山崩れ現場など、被災地をご案内していただきました。

この地震は、山間部の各所で地すべりや斜面崩壊が多発し、その膨大な土砂が各所で川をせき止め



天然ダムを形成したり、ダム湖に流入し大きな津波を発生させるなど、わが国の防災対策に新たな教訓を残した災害でもあります。

熊倉の崩落場所（高さ100m以上の急峻な崖）では、発災後の余震による巨岩の崩落が続く中で救出活動など、救助する側に二次・三次災害が発生しなかったのが不思議なほどの厳しい現場を案内していただき、プロの方々（消防、自衛隊、警察）のまさに「命を賭した」活動に畏怖するとともに、衝撃を受けました。あわせて、人口約八万人、面積では八戸市の凡そ二、五倍にもおよぶ栗原市（を含む一帯）を突然襲った巨大地震に対して、同市の消防力（消防隊、消防団など）凡そ二千人の発災直

後の活動範囲は、極めて限定的なものにならざるを得なかったことも知りました。

今回の研修を通じて強く思ったことは、大規模災害では、プロの方々に出来るだけ難しい現場で活動していただけるよう、わたしたち市民は、常日頃から「自分たちができる防災・減災」を考え、「自分の命は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という「自助」「共助」の大切さでした。

最後に、栗原市消防本部の方々から「貴重な体験」を教示していただきましたこと、また、その機会を与えていただきました八戸地域防災協会および事務局の皆様にご心より御礼申し上げます。

## 岩手・宮城内陸地震視察研修に参加して

特別養護老人ホーム寿楽荘

田名部 喜 栄



天高き秋空の下、仲秋の十五日大黒会長以下二十七名の視察団の一行は、東北自動車道を一路南下し視察地であります宮城県栗原市へと向かいました。

車窓を流れる紅葉の鮮やかな山並みや、黄金色の刈取られた稲穂

が整然と並んでいる様は、日本の原風景そのものでした。それは安らぎと癒しの空間となり日頃の疲れが浄化されるのを感じました。自然の力のもつ雄大さと寛容さ、そして日本人が作り続ける生命の源とも言える稲作、自然の恵みへ

の感謝の念を強くしました。

昼食休憩の後、程なく目的地栗原市の消防本部に到着しました。消防長からはご挨拶をいただき、担当者からは地震の被害状況を説明していただきました。被害のあまりの甚大さ凄さに、私の観光気分は一変しました。地震直後には多くのマスメディアで報道されていたので、ある程度の予備知識は



あったつもりでした。しかし、現場で救援活動をした消防職員の生々しい体験談や、地震直後に撮影された映像を交えながらの説明は、私の想像を遥かに超える悲惨な被害状況でした。記録には載りませんが震源地付近の震度は七と推測されるとのことです。復旧作業もまだまだ続いており、栗原市の復興対策会議は一年有余ヶ月経った

今でも毎月開催されているのとことでした。

この地震での死亡者は13名、行方不明者6名、負傷者180名とのこと、お亡くなりになられた方々には心からご冥福をお祈り申し上げます。栗原市の市長は行方不明者の方々を何としても捜し出し、全員が家族の元へ帰ってほしいとの思いを強く持つていて、過去にあまり例をみない、一年以上も経過しての再捜索活動を実施され発見できた方もおられたようです。

地震概要の説明を受け、崩落現場を案内していただきました。そこで目に飛び込んできた風景は、自然災害の脅威でした。山の斜面を覆って緑の美林を形成していたであろう杉の大木は、大量のマッチ棒を無雑作に投捨てたかのような様子でした。

また身の丈程もあるような石を含め大小様々な石は、ビー玉を転がしたように散乱しており、崩落の危険から今もって片付けが順調でない状況でした。自然の力と自然災害の怖さに身のすくむ思いでした。

私たち人間は自然の力にはことごとく及びませんが、人工的構造物には力を及ぼすことはできません。次のことは、この度の研修で初めて学んだことです。天井に取付けられたバッテリー内蔵の非常照明

器具が床近くまで落下してしまいました。避難中の歩行者を直撃する危険があったとのことでした。留め方に工夫が必要で、外れた場合でも下まで届かない電線の適切な長さが求められます。

また家具類は、転倒防止のため壁等に固定し、キャスター付きの家具類は動かぬようにすることは、皆様よくご存じのことです。言うまでもありません。しっかりと対策を講じて、下敷きになったり避難路をふさぐことの無いよう努めたいものです。

この度はいい研修の機会に恵まれ、地震の被災地を視察することができ、安全の有難さを改めて痛感しております。得難いものを沢山いただきました。皆様のご協力により無事視察研修が終えられたことにお礼を申し上げます。

末筆となりましたが、栗原市消防本部の皆様にはお忙しい中、時間をさいてお世話いただきましたこと心から感謝を申し上げます。追記として、紙面の都合で観光の部分の報告は割愛させていただきました。悪しからずご容赦願います。本当は書きたかった松島瑞厳寺見学の際の案内役、自称青年というボランティアガイドさんの面白い話題等々、楽しい旅であったことも書き添えておきます。



## 各ブロック 主催事業

### 八戸消防署管内 防災活動交流会

昨年十月八日(木)、八戸消防署管内三十五事業所七十名が、八戸屋内トレーニングセンターに参集し、恒例となった防災活動交流会を実施しました。交流会は、火災現場を想定し、防火衣着装、初期消火、担架搬送等の一連の活動で迅速さと確実性を競いました。

に臨んでいました。八戸消防署職員による審査の結果、成績は次のとおりでした。

- 第一位**  
福沢光雄 八戸パークホテル  
近藤淳一 八戸火力発電所  
鎌田三雄 ㈱ラクウン  
吉田博彦 ㈱ラクウン
- 第二位**  
桜庭美純 尻内保育園  
田口 剛 水道企業団  
柴田栄一 医療法人仁泉会  
佐々木俊文 ピアドゥ
- 第三位**  
能登良子 太一  
井上裕貴 合同酒精  
村田克広 八戸液化ガス  
平沢雄治 八戸火力発電所



### 五戸消防署管内 視察研修会

八戸地域防災協会の五戸ブロックでは、昨年十月十五日(木)、五戸地区婦人消防クラブ連絡協議会と合同で視察研修会を実施しました。

八戸地域防災協会五戸ブロックでは、昨年十月十五日(木)、五戸地区婦人消防クラブ連絡協議会と合同で視察研修会を実施しました。

「蓄基地」と地下水族科学館「もぐらんびあ」「石油文化ホール」の三施設を見学しました。当日は朝から秋晴れとなり、絶好の研修会日和となりました。目的地まで二時間と長い道程でしたが、防災協会の木村健一理事、婦人消防クラブの中川原扶貴子会長のあいさつに始まり、消防署員による「AEDの取り扱い方法」や「古い消火器の安全管理について」などの説明があり、和気藹藹のうちに目的地到着となりました。久慈国家石油備蓄基地では、日本で三箇所だけの地下石油備蓄基地



というところで、基地職員から施設の概要や備蓄方法及び防災設備などについて詳しく説明を受け、「地下岩盤タンク方式は地上タンク方式より地震等の自然災害に強く、漏油、拡散の危険性が低い。」との説明を受け、皆で驚きました。その後、中央管理室に移動し、「総合管理システム」を見学させてもらうなど内容の濃い研修となりました。続いて、地下水族館「もぐらんびあ」と「石油文化センター」を見学し、懇親会場である待の湯「きのこ屋」に移動、太平洋を眺めながらの親睦は忘れられない有意義な一日となりました。

### 八戸東消防署管内 視察研修会

昨年十月二十九日(木)八戸東消防署管内の協会加入事業所から十四名が参加し、青森消防本部の通信指令室と県立美術館、二箇所の視察研修を実施しました。青森消防本部の県内初の最先端技術を駆使した「高機能消防指令システム」には、参加者は目を丸くして説明に聞き入っていました。特に注目を集めたものは、高所監視カメラ



(高さ56m)で、35倍のレンズを用いており、災害受信後、瞬時にその災害地点を映し出せる装置とすることで

高度な消防防災システムを配備した青森県立美術館での研修は、常設展に加え吉村作治さんの企画展(エジプト展)が開催されており、防災設備と古代文明について知識を深めることができました。研修を終えた参加者は、「普段接する機会のない指令システムや文化施設に触れることが出来たし、何より協会員同士が親睦を深めることが出来ました」と語る等、有意義な一日を過ごしました。

### 八戸北消防署管内 視察研修会

八戸北消防署管内では、昨年八月二十八日(金)に十七名が参加し、視察研修会を実施しました。デーリー東北新聞社にて「報道の仕組みや新聞の成り立ち」を八戸市民病院へレポートにおいて、「ドクターヘリの見学と救急医療体制の仕組み」について視察し、防災



関連機関に關する視野を広め、理解を深めることに努めました。



もう三月になりました。卒園、卒業、送別会、そして火災予防週間の時期です。三月は皆さんにとってどう思いますか？自分にとつて三月はとても忙しい月です。二児の父親としては進学の準備など、会社の面ではいつも通りお客様との丁寧な対応、最後は自分の仕事昇格の為、勉強です。全体のバランスをとることは難しいですが、なんとか頑張っています。

の命令で三沢基地の勤務が始まりました。その翌年、とても素敵な日本人女性にあつて、結婚しました。平成十年、軍の契約を終えて、日本に残つて、荒沢商会に入社しました。消防設備保守点検がメインの仕事内容なので、その仕事を法的に行う為資格が必要。十二年かけて、今資格を七つ持っています。消防設備士乙一類、六類、甲四類、消防設備点検資格者一種・

## 頑張れる力



荒沢商会

荒沢 弁砂明  
ベンジャミン

だけど、疲れる時だけである。その場合、どうすればまた頑張れる気ができる？私の場合、今までの失敗と成功したことを思い出す。失敗の悔しさ、成功の喜びと比較してみると、また頑張る気が沸きます。「絶対今度成功します！」という気持ちでいっばいです。知っている人は知っているけど、私は皆さんとちよつと違うところがあります。私の地元はアメリカ合衆国です。昭和五十年才ハイオ州生まれで、平成八年八月、二十一才の時米軍

二種、防火対象物点検資格者、そして二種電気工事士をとりました。今年の一、消防設備士の甲五を挑戦してみました。結果はまだ出ていない。三年前、私が母国の国籍を捨てて、帰化しました。その理由ひとつは皆さんからの暖かい応援がありましたから。会社の社長、同僚に初め、八戸・南部地域の方々の優しさに支えられました。これからも、皆さんと一緒にこの八戸・南部地域の為頑張りたい。

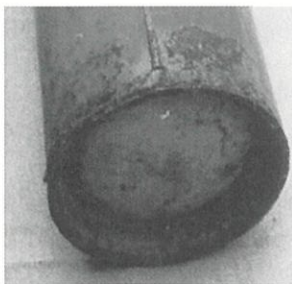
# 『消火器の破裂事故が連続で発生しました』

昨年9月15日及び16日に大阪府大阪市と福岡県行橋市で、腐食が進んだ消火器を操作したところ、消火器が破裂し受傷したと見られる事故が相次いで発生しました。

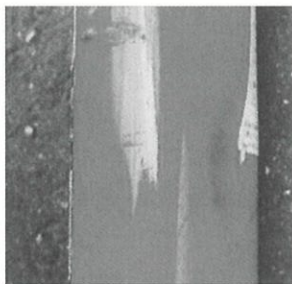
次のことにより、事故防止若しくは注意してください。

- 1 消火器が風雨にさらされる場所や湿潤な場所等に設置されていないかを確認するとともに、消火器の状態を点検し、腐食が進んでいるものは、絶対に使用しないでください。
- 2 不用になった消火器については、放射、解体等の廃棄処理を自ら行うことなく、回収を行っている事業者へ廃棄処理を依頼してください。特に、腐食が進んでいる加圧式の消火器は、容器破裂の危険性が大きいので、速やかに廃棄処理を依頼してください。

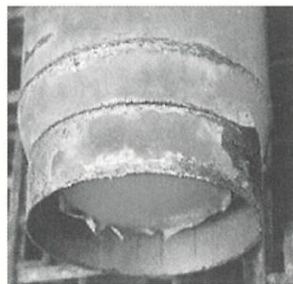
こんな消火器は絶対使用しないでください。



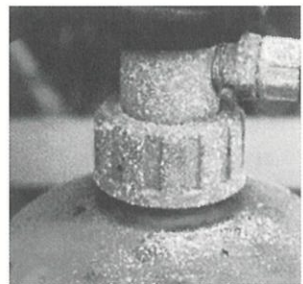
溶接部及びその周辺の剥離



使用に耐えない変形



サビを落としても腐食の残るもの



表面にポツポツができたもの



詳細についてのお問い合わせは最寄の消防署へ

- |        |               |        |               |
|--------|---------------|--------|---------------|
| 八戸消防署  | ☎0178-44-0076 | 八戸東消防署 | ☎0178-33-0323 |
| 三戸消防署  | ☎0179-22-1140 | 五戸消防署  | ☎0178-62-3140 |
| 八戸北消防署 | ☎0178-56-2525 | 消防本部   | ☎0178-44-2133 |





# 趣味をもと

No. 2

## 八戸地域防災協会



何事を行うにも健康でなければ何  
も出来ない。小生まだ八十八才です  
が、足から老化するような気がして  
歩く事にしています。エレベーター・  
エスカレーターがあっても階段を上  
下しています。  
手足の運動のため、民謡の踊り新  
舞踊を踊っています。毎年四月と十  
月、年二回公会堂で踊り、結婚式の  
祝舞や御祝ごとの新年宴会などで踊  
り、ダンスやカラオ  
ケも大好きです。  
多数の集りがある  
と必ず参加し、社会

の情報を吸収するようにしています。  
小生は小学校だけですすが負けたく  
ない気持があり、今まで生きてきま  
した。何か物事が起きたら率先して  
参加して、平穩に納めるように務め  
て居ります。毎朝六時頃起床し、六  
時三十分からのラヂオ体操を五十数  
年間休んだことが無く、続けていま  
す。ラヂオ体操が終ると毎日冷水に  
て洗顔し口をすすぎ必ず水を飲み、  
神仏の水を交換し御飯を供えて礼拝  
し、朝食を取ります。  
防災協会理事として四十三年にな  
ります。理事会の際、「もう年だから  
変えて下さい」とお願い致しました  
が、まだ大丈夫だと言われ、これか  
ら何年出来るか判りませんが、地域  
防災協会と社会の為、頑張る所存で  
御座います。

## 職務を全うするには 健康が第一

理事 中野喜代芽

## 会員事業所紹介コーナー②

私共、八戸液化ガス株式会社は、おかげ様で今年で会社設立50周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆様に支えられてのことであり、今後も地域の皆様に愛される企業づくりを念頭に日々活動していく次第であります。

現在我が社が取り扱っておりますLPガスは、CO<sub>2</sub>の排出量が小さく、非常に優れたガス体エネルギーであり、地球温暖化防止対策の面でも重要な役割を担っております。また、平成13年の環境マネジメントシステム「ISO14001」認証の取得を始め、環境保全を目的とした事業活動や、燃料電池を始めとする新エネルギー時代に向けた新エネルギー委員会を社内を発足させるなど、地域だけでなく地球のクリーンな環境づくりにも取り組んでおります。

その他にも、市民の皆様へ知識や文化に対する学習意欲や生きる楽しさを学んでいただくためのカルチャースクール「はちえきキャンパスin八日町」の運営や、平成21年にショッピングセンターラピア1Fにオープンした、保険の新しい選び方を提案する来店型の保険ショップ「はちえきライフサービス株式会社」の展開も行っております。

こうした様々な取り組みを通して、八戸液化ガス株式会社は、お客様とのコミュニケーションを大切に、安全と安心の暮らしをお届けすると共に、その時代に合った生活提案をできるように社員のレベルアップを図り、これからも積極的に活動してまいります。

### 八戸液化ガス株式会社

住所：八戸市卸センター2丁目6-27

TEL：0178-28-2111



▲バルクローリーによる最新のバルク供給方式を採用



▲八日町八戸液化ガスビルの外壁に描かれた壁画「種の旅」